

【JCCA 東北支部】東北支部長のインタビュー記事が掲載されました

7月1日付で藤島芳男支部長からバトンを引き継ぐ。国民の安全・安心を確保し、豊かな生活を実現する社会資本整備の川上に位置する業界だけに、「われわれがどう動くかで、地域の未来が変わってしまう。東北の風土に合った技術者を育て、社会に還元していきたい」と抱負を語る。

一方、公共事業予算の減少に伴い、受注競争が激化している中で「いかに中央企業と地元企業のバランスを取っていくかが課題だ。中央の力

## 風土に合った技術者育成

を借りながら、地元の技術者一人ひとり、そして企業自体のレベルアップを図っていききたい」と強調する。

地元企業の存在が欠かせない。このため、東北地方整備局を始めとする発注者に対しては、「プロポー



建設コンサルタンツ協会  
東北支部長  
えんどう としお  
遠藤 敏雄さん

豪雪や豪雨、大規模地震といった自然災害の多い東北地方にあっては、どの評価を高めてもらいたい」と、これまで以上に積極的な要望活動を展

開する考えだ。社会資本整備に対する国民の理解促進に向けては「われわれ技術者がさまざまな場に出て、人の話を聞き、問題の解決策を教えることで少しずつ理解を深めていきたい」と社会とのコミットを重視する。

1975年3月東北工大工学部土木工学科卒業後、同年4月復建技術コンサルタンツ入社。05年6月取締役総合企画室長、07年6月代表取締役専務、6月23日付で社長。趣味は米・野菜づくり。「融合」が信条。宮城県白石市出身、57歳。